

# Q&A 先月の技術相談から

林産試験場への技術相談は、年間約1,000件程度あります。次号からは、毎月の技術相談の中からいくつか選び、どのような相談が届き、どのような回答が行われているかについて、具体的に紹介していきます。

最近の林産試だよりでは、分野ごとに技術相談特集号を発行してきており、木材保存については2001年10月号、木材の多目的利用については2001年12月号、製材・乾燥・加工については2002年2月号で紹介しています。参考にしていただければ幸いです。

林産試験場に寄せられる相談で一番多いのは「きのこ」に関することです。スーパーマーケットなどでは広い売り場を占めるほど、皆さんになじみのあるものですので、生産者からの技術的なことばかりでなく、一般の方からも様々な相談が寄せられています。

このような、多くの方々が興味を持っているきのこについて、今月号では、専門的・具体的な相談の内容ではなく、どのきのこについての相談が多いのか、順番をご紹介します。

なお、野生のきのこについて、種類や食べられるかどうかかわからないときは、保健所や地元のきのこの会などの専門家にご相談ください。

## 相談件数1位 タモギタケ

生活習慣病の予防効果で注目されている、黄色が鮮やかなきのこです。北海道の生産量が全国の9割超を占めます。



## 相談件数2位 シイタケ

最も一般的なきのこの一つにあげられます。北海道における生シイタケの生産量は年間約4,000トンですが、その内の約70%がおが粉を用いた菌床栽培によって生産されています。



## 相談件数3位 マイタケ

天然のマイタケは見つけた人が「舞う程喜ぶ」と言われていましたが、現在は生産量も多くなっています。道内では空調栽培が主流となっているほか、写真のような露地栽培も見られ、全体的な品質は向上しています。

